

# 特集 部長に聞く「今年度の方針」

この特集では、今年度の市の取り組みを分かりやすくお伝えするために、行政の各分野を所管する部長から各部の基本方針や現状と課題、重点的な取り組みなどをご紹介します。



理事 兼 総務部長  
田中 義久

**安心・安全な暮らしの基盤づくりを進めます**

総務部は、防災をはじめ種々の危機管理・防犯・交通安全等市民のみなさまの「安全・安心」、財政・税務・契約・管財の「財務事務」、また戸籍・住民基本台帳等に係る「窓口対応」に加え、斎場運営や選挙の執行管理など幅広い行政分野を担当しています。

今年度の主な事業は、屋内戸別受信機の設置に向けた防災行政無線の整備、危険空家対策、地区集会所耐震補強補助、ライフライン保全のための立木伐採、（仮称）郡上市北部斎場の完成と供用開始などです。財政面では、有利な合併特例債を可能な限り活用することとし、必



議会事務局長  
岡 文男

**議員・市民・行政から信頼される事務局として**

議会事務局は、郡上市議会の基本方針である「市民に開かれた議会」を実現し、市民が期待

要かつ今後の振興へ向けた施設整備を拡大しましたが、その一方で将来にわたる公債費負担が過大とならないよう中長期的な財政の健全性確保をめざします。税務では、航空写真など様々な方法を駆使して正確な課税客体の把握に努め、公正な課税とともに、的確な滞納整理によって徴収率を高めるよう努力します。窓口業務では、親切丁寧を基本に正確かつ迅速な対応に加え、情報セキュリティ対策に留意して事務処理を行います。よろしく願います。

開かれた議会であるためには、議会活動について広くお知らせしていく必要があります。現在広報媒体として主に、議会だより、ホームページ、ケーブルテレビを活用していますが、その内容の充実を図ります。

特にホームページについては、各種団体との意見交換会や議会報告会においていただいたご意見や行政視察報告等について掲載していますが、今年度からは、昨年度導入された議員の政務活動費収支報告書を公開します。

また、議会活動日誌として毎月の議会活動実績をカレンダー形式でお伝えしたいと考えています。

各委員会等においては、テーマを持って、その課題解決のため調査・研究活動を行っています。そのためには各種団体や市民のみなさまのご協力が不可欠です。今後とも格別なるご支援をお願いするとともに、今後の議会活動にご期待いただきしたいと思います。



市長公室長  
三島 哲也

**「住みたい、輝きたい、訪ねたい」まちを目指し**

市長公室は、市長・副市長の秘書業務、市政の広報広聴、公共交通・行政改革等の企画調整、地域振興、人事管理、情報通信の分野を担当しています。今年度は、新たに観光立市郡上推進本部を室内に立ち上げ、第二次総合計画等に掲げた産業振興や人口増加に関する総合的な施策の推進と実現に取り組みます。

公共交通分野では、高齢者等の交通弱者の足の確保は勿論のこと、観光、福祉、教育分野等に対する新たな計画の役割を明確にする新たな計画を策定し、公共交通の充実に取り組みます。行政改革分野では、昨年度示した公共施設の管理方針を基に、個別施設の適正配置計画に着手します。情報通信分野では、市民に親しまれるCATVを心がけ



市長公室付部長  
置田 優一

**「観光立市郡上」の推進で元氣な地域を**

郡上市には、長良川源流域に広がる美しい森や、市民のみなさまが大切に守りつないできた郡上おどりや白鳥おどり、拝殿踊りなどの伝統芸能、古い町並み景観、美味しい食べ物、伝統工芸品など魅力あふれる「宝もの」がいっぱいあります。「観光立市郡上」は、こうした「宝もの」の素晴らしさを再認識し、多くのみなさまの手で磨き、高め、いかしていく取り組みです。また、一般的に言われる観光事業だけではなく、教育や福祉、農業、製造業など幅広い分野にまたがって進める取り組みでもあります。

とともに、ICTを活用した事業の推進と更新時期を迎えた情報通信網の光化の検討に着手します。このほか市民協働事業や結婚相談事業等の様々な地域振興事業に取り組むことで住みたい、輝きたい、訪ねたいまちの実現を目指したいと思っています。

「観光立市郡上」はスタートしたばかりですが、5月12日には、庁内における推進体制として、副市長を本部長とする「観光立市郡上推進本部」を設置し、関係する部署の課長級職員による部局横断の戦略会議として庁内の推進体制を整えました。

郡上市には、多様な分野で地域づくり活動を通して蓄積された「多くの人の心を動かす力」がまだまだ眠っていると感じています。この力を引き出し、市民の総力で真の「観光立市郡上」が実現できるよう、また、郡上に暮らす人、郡上を訪れる人とともに幸せを感じられる地域を目指して、より戦略的、総合的な取り組みになるよう努めていきたいと思っています。「観光立市郡上」に関心をお寄せいただき、それぞれのお立場でご参加、ご協力をお願いします。



健康福祉部長  
丸茂 紀子

支えあい、助け合い、安心して暮らし続けられるまちづくりを進めます

健康福祉部は、子どもからお

年寄りまで、障がいのある人もない人もすべての市民のみなさんの生活満足度が高まり、住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指した業務を担当しています。

子ども・子育て支援では、これからも「日本一住みたいまち、子育てしやすいまち」の実現をめざし、子育て親子の交流や相談の場の充実など地域全体で子育てができる体制づくりに取り組みます。

また、市民のみなさまがいつまでも健康で生きがいある暮らしを続けられ、生涯にわたり現役で仕事や地域活動に携わっていただけること、たとえ介護が必要な状態になられたとしても家族や地域の人たちの支えや福祉サービス等の利用により「郡上」に住み続けられるように、市内関係機関や団体とともに取り組みます。

具体的な事業の一つとして高齢福祉では、高齢者の多様なニーズに対応した生活支援サービスの充実とその担い手を育成し、地域における助け合いの仕組みづくりを進めるため、「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の新たな配置や、認知症対策では、認知症の人やその家族を支えるため、医

師や介護などの専門職によるサポート体制を強化します。市民のみなさまのご理解と積極的なご参加、ご協力をお願いします。



郡上偕楽園長  
清水 宗人

安全で安心して生活ができる郡上偕楽園を目指して

郡上偕楽園は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、老人短期入所施設（ショートステイ）からなる老人福祉施設です。4月1日現在、126人に利用していたしていますが、利用者みなさまが、安全で安心して日常生活を送っていただけるよう、職員92人が、24時間体制の中で、園行事の充実を図りながら、事故防止、感染症防止対策に努めます。

高齢者が、住みなれた地域で暮らし続けられるよう、職員の専門性を生かした認知症ケア、高齢者介護等の出前講座を積極的に進めます。

また、郡上偕楽園は、過去の大洪水による避難実績があり、立地的に災害のリスクのある施

設といえます。利用者が、少しでも安全で安心して生活できる施設整備や機能のあり方について取り組みを進めます。

郡上偕楽園では、年間700人以上のボランティアに、園内の行事や活動、環境美化のご支援をいただいています。今後とも、ご支援ご協力をお願いします。



農林水産部長  
下平 典良

地域の特色をいかして持続的発展を目指します

農林水産部は、郡上市の基幹産業である農林水産業の持続的発展に向け、地域の特色をいかした各種の施策を展開しています。

農業の担い手対策としては、集落全体で考える「人・農地プラン」を核として、農地の集積・集約化を進めるとともに、担い手や新規就農者等の機械、施設整備を支援します。水産振興では、来年度オープンする「(仮称)清流長良川あゆパーク」が魅力ある施設となるよう岐阜県と連携して運営準備を進めます。

林業振興では、大型製材工場の稼働等により増加した木材需要に対応するため、造林推進事業を積極的に進めるとともに、適正な主伐と低コスト手法による再造林を推進し、利用期を迎えた森林資源の循環利用を目指します。また、市内産材の利用拡大や、森林の大切さを教える木育を進めます。

畜産振興では、子牛価格の高騰が続く中、優良資質を持つ系統雌牛の保留・導入に努め、繁殖雌牛の増頭・牛群改良を推進します。また今年9月、宮城県で開かれる「第11回全国和牛能力共進会」への本選出場を目指し、候補牛の技術・衛生管理指導を強化します。



商工観光部長  
福手 均

「観光立市郡上」の実現を目指して

郡上市は今年、「観光立市」という大きな方針を打ち出しました。これは、郡上の資源を磨いて内外に情報発信することをまちづくり全般のシンボルとして表した言葉です。商工観光業



の振興を担当する私たち商工観光部は、この目標に向かって次の重点事業を進めます。

1 (仮称)郡上市産業振興支援センターの開設準備

市役所隣の商工会館を取り壊し、この場所に今年度、(仮称)郡上市産業振興拠点施設を建設します。そして、来春にはその施設に(仮称)郡上市産業振興支援センターを開設するための準備を進めます。このセンターは、産業振興についての様々なお問い合わせや要望にワンストップでお応えするとともに、新たな産業振興策を立案し、実施していくセンターを目指します。

## 2 観光振興事業

「観光立市郡上」の実現のため、来訪者と宿泊者の両方を増やす事業に取り組みます。宿泊施設のレベルアップを支援するために施設の改修等に助成金を交付するほか、新たなPRイベントの展開や、大規模改修を行った郡上八幡駅舎内に開設した観光案内所の活用を図ります。また、観光施設整備では、ラグビーワールドカップ2019の合宿誘致のために高鷲町の吠グラウンドにクラブハウスを建設するほか、道の駅明宝のトイレ棟改修などの整備を進めます。



建設部長  
尾藤 康春

### 安全で快適な市民生活を 目指して

今年度からの取り組みとして、「土砂災害特別警戒区域」に指定された区域において、戸建て住宅の建て替え等を行う場合には、安全基準を満たすための経費の一部を助成する制度を創設しました。

主要幹線道路の整備として「東海北陸自動車道」4車線化の早期完成をはじめ、国・県道改良に係る継続事業の一層の事業促進や、新規事業化など関係機関へ要望活動を行っていきます。また、市道をはじめとした身近な生活道路は、日常生活を支える重要な道路であることから、新設をはじめ道路施設の点検結果に基づいた改良・補修を優先度を考慮しながら計画的に進めます。

郡上八幡北町の重要伝統的建造物群保存地区の「無電柱化整備事業」等を継続し、歴史的風致を生かしたまちづくりを進めます。

効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図り、安全・安心で、快適な市民生活を目指したまちづくりに努めていきますので市民のみなさまの「理解・協力」をお願いします。



環境水道部長  
平澤 克典

### 今できること なすべきこと

人口減少や老朽化施設の対応など、環境水道部の事業を取り巻く状況は大変厳しいところですが、将来にわたって安定的にサービスを提供し続けることが私たちの使命です。そのために私たちが次の施策に取り組んでいます。

簡易水道事業では、今まで進めてきました施設の統合事業を完成させ、来年4月1日からの公営企業会計移行に向けた事務を推進するとともに、経営基盤の強化を図るため、経営の効率化、料金水準の適正化など、経営を考えた持続可能な運営を目指します。

上水道事業では、災害時等の安定した水の供給体制を整えるため、八幡市街地において新し

く貯水槽を増設整備します。

下水道事業では、事故等による機能停止を未然に防止し、効率的な維持管理を推進するため「ストックマネジメント基本計画」の策定に着手します。

環境事業では、白鳥に続き旧高鷲村焼却施設の解体調査に着手するとともに、環境衛生センターの堆肥化機械設備の更新を進め、持続可能な施設の整備を進めます。

昨年、長良川をはじめとする市内の川を保全し、次世代に継承していくため「清流長良川等保全条例」を制定しました。条例では、川の恵みを理解し、四つの理念に基づき、市民・事業者のみならずともに、保全に努めていくことを掲げています。

私たちは、今できること、なすべきことを、職員の共通認識のもと、知恵を出し合い、叡智を結集し、着実に実行していきたいと考えています。



市民病院事務局長  
古田 年久

### 市民から信頼される 病院を目指して

市民病院は、平成28年度に延べ約4万5千人が入院治療を受けられ、10万4千人が外来で治療を受けられました。また、市内唯一の産科施設として年間約300件もの分娩を扱うとともに、二次救急病院として24時間365日の救急業務を行うなど、地域の中核的医療機関としての役割を担っています。

こうした中、県が策定した地域医療構想を踏まえ、当院でも病院機能の見直しや経営改革に取り組むための「郡上市民病院第二次改革プラン」を昨年度策定しました。今後、中濃医療圏において回復期機能が不足すると予想されていることから、本プランでは、これまで担ってきた役割に加え、新たに回復期機能を有する病床を設置することとしており、今年度は、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーション機能を提供する「地域包括ケア病床」の導入へ向けた方向性を示すための研究・検討を行います。

また、病気の早期発見・早期治療を行うための全身用X線CT装置の更新を今年度に行うこととしており、今後も医療機器の計画的更新による医療機能の強化を進めるとともに、昨年受審した日本医療機能評価機構に

よる「病院機能評価」の中間報告を受けて、更なるサービスの質の改善を行うことにより、市民のみならず安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを受けられる病院をめざして努力していきます。



国保  
白鳥病院事務局長  
藤代 求

**芽吹いた連携を大切に  
さらに大きく育てよう**

国保白鳥病院が県北西部地域医療センターの基幹病院としてスタートしてから3年目を迎えました。これまで、センターを構成する診療所群や関係職員との連携、地域の医療機関や保健福祉施設との連携を重点に取り組んできましたが、今年度の運営方針は「芽吹いた連携を大切に、さらに大きく育てよう」としました。この方針のもとに、「連携（つながり）」をキーワードとして各種業務に取り組みます。

第一には「地域包括ケアシステムの推進」です。このシステムは医師の往診や訪問看護、介護を受けながら、住み慣れた地

域で最期まで暮らせるようにする態勢のことで、地域の関係機関との連携により、当院がこうした仕組みの拠点となるよう努力します。

第二には「地域・市民との交流」です。医療懇談会等の意見交換会や健康講座の開催、地域行事への参加、体験学習やボランティアの受け入れを積極的に行っていきます。



会計管理者  
乾 松幸

### 会計事務の適切な執行

自治体の財務会計制度では、予算を執行する会計命令機関（執行機関）と審査する会計執行機関（会計管理者）を区分し、相互に牽制作用が働くようにして、予算の適正な執行と公正な会計事務の確保を図る仕組みとなっています。会計管理者は、市長の支出命令に対して審査権が与えられており、会計事務の執行機関として独立性をもつ職業です。

会計課は、行政運営を支える大切な公金をお預かりする部署

として、予算の執行内容のチェックや公金の安全・確実な保管と運用、そして決算の調整などを行っています。

平成29年度当初予算では、一般会計と20の特別会計を合わせ、総額約449億円の支払いが予定されており、市民のみならずから納めていただいた大切な税金であるという緊張感を持って、正確で迅速かつ効率的な会計事務の遂行に取り組むとともに、超低金利下における積立基金の安全かつ効率的な資金運用に努めていきますのでよろしくお願い致します。



消防本部消防長  
桑原 正明

### 地域の安全、安心を守ります

私たち消防には、市民の生命、身体、財産を守るという使命があります。この使命を達成するには、消防車や資器材も大切ですが、何よりも消防職員の高い能力が必要になります。このため、救急救命士の養成をはじめ、消防学校での研修訓練、消防に必要な資格の取得などを計画的

に進めていきます。

地域防災の要である消防団では、充実した生活環境の中で消防活動に専念していただくことを目的に、昨年に引き続き消防団員婚活イベントを開催します。大切な人、大切なまちを守る消防団員に興味のある女性のみならず、是非ご参加いただきたいと思っています。

住宅用火災警報器では、市内で設置を進めてから概ね10年となり、電池切れや本体交換などの問い合わせが増えるところと予想されます。引き続き電器商業組合郡上支部と業務契約を行い、問い合わせには素早く確実な対応に努めていきます。

私たち消防職員は、市民のみならず安全、安心に暮らせるよう、今後も使命の達成に向け取り組んでいきます。



教育次長  
細川 竜弥

### 文化とスポーツで 地域づくり

平成29年度、教育費の中で、施設整備のために大きな予算を占める文化施設とスポーツ施設

を1例ずつ紹介します。

文化施設では、(仮称)郡上市歴史資料・文化財収蔵施設の建設です。昨年度着手し、来春のオープンを予定しています。

世代交代等により長年、民家等で保存・継承されてきた史資料が消失の危機にあり、これまで市でお預かりしても、温度、湿度、害虫対策など適正な環境で保存できませんでした。ようやく、来春に完成し受け入れが可能となります。完成後は、収蔵だけでなく、この施設を拠点として、歴史文化の調査・研究を進め、その成果が地域づくりにつながっていくよう努めていきたいと思っています。

スポーツ施設では、美並地域のまん真ん中広場芝生化です。市民団体の利用のほか、市外のスポーツ合宿誘致も進め、経済活動につなげたいと思います。合宿誘致はこれまで高鷲地域が中心でしたが、それぞれの地域の交通事情や気候などの利点を生かして、通年で合宿誘致ができるよう受入体制も検討していきたいと思っています。

文化、スポーツは、直接「観光」につながるイメージはありませんが、市が掲げる「観光立市」の資源として磨き「光る」よう努めます。